

自転車 の基礎情報



平成29(2017)年1月20日 No. 15

シティ車のチェーンケース

今回はシティ車のチェーンケースです。チェーンケースは主役ではないのですが、その働きには目を見張るものがあります。その働きとはギア、チェーンなどにつくほこりや泥を防ぐことです。さらに、走行時、利用者のズボンやスカートにギア、チェーンの油がつかないようにしています。同時に、ギアに食い込まれ穴があかないようにしています。

材質は金属製と樹脂製があり、チェーンケースを装着した場合はその形状が複雑になることから、シティ車には、スポーツ自転車のような前側の変速機を取り付けないことが一般的です。

チェーンケースは大きく分けて3種類あります。

① 全ケース

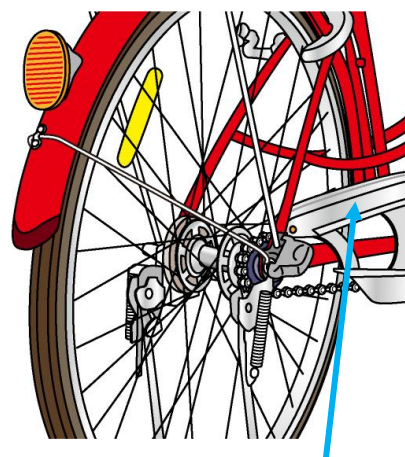
前側の大きなギア、後側の小さいギア、チェーンをすべて覆っています。後側の小さいギアが6段(外装)などになっていると全ケースは装着できません。金属製がほとんどです。

② 半面ケース

表側のみを覆うもので、裏側のケースがないことが特徴です。樹脂製が増えています。

③ 半ケース

表側の上側部分を主に覆っています。電動アシスト自転車などに使用されています。樹脂製がほとんどです。



半面ケース(表側)

チェーンケースはシティ車のデザインに大きく影響します。そのため、最近では全ケースよりも樹脂製の半面ケースや半ケースを装着するシティ車が目立つようになりました。チェーンケースはシティ車の構造に合わせて製造されていることから、形状や固定ボルト位置などが異なっているため、ほとんどのチェーンケースに互換性はありません。チェーンケースがへこんだり、曲がったりして壊れた場合には、同じメーカーの同じ車種のチェーンケースへの交換が基本です。メーカーに在庫がない時には、互換性のある汎用品に交換することもあります。

チェーンケースが壊れると、交換で思わず困ってしまうことがあるので注意をしましょう。

次号は、平成29年2月17日に発行を予定しています。

<発行>

一般財団法人自転車産業振興協会

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル4階

電話：03-6409-6922 FAX：03-6409-6868 <http://www.jbpi.or.jp>

